

## 委員会視察報告 議会運営委員会

平成24年10月23日から25日の3日間の日程で視察を行った。

東京都多摩市では、「市民への議会報告会と意見交換会のあり方」について調査を行った。

平成16年に自治基本条例を制定後、二元代表制を実質化していくため、議会運営のあり方について改革に取り組んでいる。平成22年に議会基本条例を制定し、市民への情報公開や、市民との意見交換など、市民が意思決定過程に参加できるようにしている。平成24年1月から、地区の公民館等で週末を利用して、出前委員会を実施している。参加者は1会場50人前後であり、今後は広報活動と市民の行政への関心を高めていくことが課題とのことであった。



多摩市議会

山梨県韮崎市では、「財務常任委員会の設置」について調査を行った。

予算及び決算を所管する財務委員会を常任委員会として全議員で構成している。そのことにより、当初予算、補正予算及び決算を年間通して（議会閉

会中も）円滑に審議することができ、全議員が予算決算の流れを把握できるようになったとのことであった。

埼玉県所沢市では、「政策討論会・議会改革評価」について調査を行った。

市長提出議案に限らず、特定のテーマについて各議員が活発に意見交換を行う政策討論会を実施している。開催内容及び成果についてはホームページで公表している。また、議会改革、議会の活性化の取組や成果について自己評価を行い、今後の取組に活かして、更なる改善を図っていくとのことであった。

「地方のことは地方で決める」という地域主権の時代を見据えると、市議会はその役割が十分に果たせるようにならないといけない。本市議会においても更なる議会改革を推進していく所存であります。

### 会派視察報告 創政会

平成24年11月13日から15日の3日間の日程で行政視察を行った。

神奈川県横浜市では、「自治会・町内会加入促進の取組」について調査を行った。行政として、加入案内、加入促進ポスターなどのほか、不動産仲介業者による加入の働きかけをしてもら

うための調整にも積極的に取り組んでいた。また、「地域の絆を育み、地域で支えあう社会の構築を促進する条例」の制定は、自治会への加入促進を後押しするものとなっていた。

東京都武蔵野市では「コミュニティバス」について調査を行った。市内均一の運行ではなく、交通空白・不便地域を解消する交通システムとして、駅を起終点とした8路線を運行し、高い収益経営を維持していた。特に路線決定に当たり、市民の動向、行動パターン等の調査に基づき、民間バスとの調整、待ち時間の短縮を考慮した短距離巡回コースの設定は、利用者の増大の重要な要因となっていた。

東京都国立市では「市税等の徴収率向上の取組」について調査を行った。費用対効果という観点よりも、負担の公平性を確保するため、23人の職員を配置し、徹底した滞納整理を実施していた。また、年度ごとに滞納整理業務運営方針及び活動目標を明らかにするとともに、滞納金額別に配置した担当職員一人一人に具体的な徴収目標を付与し、この達成により高い収納率を維持していた。

これらの研修成果を本市の現状と照らし合わせ改善を要望したい。



創政会会派視察

## 議会を傍聴しませんか

市議会では、市民に密接に関係するさまざまな事項を論議し、決定しています。あなたも一度、本会議や委員会を傍聴して、議員、市長、執行部の真剣なやりとりを身近で感じてみませんか。

- 一般質問は、ケーブルテレビでも生中継されています。
- 親子で傍聴できる親子席もあります。